

(財)女性のためのアジア平和国民基金

**理事会、運営審議会
合同会議**

平成13年1月

理事・運営等合同会議記録

1. 開催日時
2001年1月16日(火) 18:00-21:00
虎ノ門パストラル 本館7階「アーネストホール」
2. 出席者
理事 有馬理事、衛藤理事、石原理事、大沼理事、金平理事、下村理事、
福山理事、宮崎理事、村山理事長、山口理事、和田理事
運営審議委員 笠見委員、高崎委員、野中委員、横田委員長
評議員 赤松評議員、枝村評議員、野田評議員
監事 橋本監事
オブザーバー 内閣官房 高田内閣参事官、後藤内閣参事官、
竹澤前内閣参事官(途中退席)、松永事務官、古矢事務官
事務局 外務省アジア大洋州局地域政策課 井出、富事務官、野依事務官
伊勢専務理事・事務局長、斎藤総務部長、松田業務部長、叶涉外部長、
山崎事務員
3. 会議・報告事項
 - (1) 省庁再編に伴う人事異動について
伊勢事務局長より、竹澤前内閣参事官が総務省へ異動され、後任に後藤内閣参事官が就任されたことが報告された。
 - (2) 省庁再編について
高田内閣参事官より、省庁再編後の基金の指導監督は総理府から外務省へ移行されたが、慰安婦問題等の政策面に係る諸問題に関しては、引き続き内閣官房副長官補室の執事となる旨が報告された。
 - (3) 現在の募金状況について
伊勢事務局長より、平成13年1月16日現在、キャンペーン以降の募金額は5,918万円に達していること、1月11日には、石原・大鷹両副理事長が各県知事へ電話で直接協力を要請したこと、経済界や企業への協力要請に関しては、今後具体化することなどが報告された。
なお、今後の募金活動に資するための比較資料の各理事への提供が求められた。
 - (4) 償い事業に関する現況について
各国の償い事業に関する現況について、情報や意見の交換が行われた。
また、国連人権小委員会での慰安婦問題に関する最近の見解について、横田運営審議委員長から説明された。
 - (5) 基金事業の今後について
償い事業の終了をふまえ、今後の事業展開について意見交換された。

以上、この会議の記録である。

平成13年1月16日

議 長 (理事長)